

令和元年度 第 1 回 静岡市発達障害者支援地域協議会 事前アンケート結果

静岡市発達障害者支援センターきらりに期待すること

1. 当事者または親の相談機関としての役割
2. 発達障害の理解のための情報提供や勉強会の実施
3. 中高生・青年期の当事者のトレーニング機関としての役割
4. すくすくファイルの活用。親に周知されていないので、もっと普及させるべき（医療福祉センターやきらりに通っていても、ファイルの存在を知らない保護者が多い）
5. 早期発見、早期対応のため、保護者理解を得たいが、そこで行き詰まることが多いのでより開かれた窓口になってほしい。
6. これまでの事業に加え、特に就労など教育から離れた対象者、あるいは、その家族への相談事業をやってもらいたい。
7. ホームページをもう少しわかりやすくしてはどうか。
8. 支援が必要な子どもたちへの早期の療育、家族への理解啓発。家族が将来へと見通しがつくような相談体制、SNS などでの発信。
9. 当事者及び家族支援への直接的支援の充実。
10. 早期発見から漏れた人たちが小学校 6 年生や中学生で受診することが多いため、その対策。